

# 認定看護師等による出前研修 受講アンケート調査結果

令和7年11月27日（木）14:00～15:00

特別養護老人ホームすずの里

研修メニュー：認知症看護

## 1 あなたの職種は？

職種	人数
看護師	1
介護職	9
その他	3
計	13

※その他(施設長、KTS学生)

## 2 研修内容は？

満足度	人数
満足できた	13
まあまあ満足できた	0
満足できなかった	0

理解度	人数
理解できた	13
まあまあ理解できた	0
理解できなかった	0

役立ち度	人数
役立つ	13
役立たない	0
わからない	0

## 3 今後、学びたい研修は？

(複数回答あり)

テーマ	人数
感染管理	1
皮膚・排泄ケア	5
摂食・嚥下障害看護	5
認知症看護	2
緩和ケア	4
救急看護	1
その他	2

※その他

(ポジショニング、ACP)

### ◆受講者の主な意見、感想など◆

#### ○研修内容

- ・認知症の人の感じ方、聞いてもらえない時の気持ちを知ることが出来た。スライドがわかりやすかった。説明が丁寧で動画もわかりやすかった。症状の具体例がわかりやすかった。
- ・価値観を大切にすることや認知症という1つの形にあてはめずその方らしい暮らしを実現できることが大切だ。その人を知ること、理解すること、認知症ケアの目標を確認できた。
- ・実際に認知症の方がどんな風に自分たちが見えているか改めて感じた。本人の想いに少しでも寄り添えることができるのではないかと感じた。
- ・認知症の基本的な症状についてとてもわかりやすく学べた。日頃の支援でわかっているつもりでいたが再度確認出来てよかったです。活かせるようにしたい。入所者と照らし合わせながら一つ一つ理解できた。
- ・話し手、聞き手となり自分が感じることができて内容を理解できた。動画がわかりやすい。ケアのヒントが出てきた。
- ・アルツハイマー型認知症の進行過程、見当識障害の具体例など理解が深まった。

- ・ちょっと待ってではなく何分になつたらと具体的に話すことが大事だ。認知症を持ちながらの幸せ、自分を知ってくれる安心感を得られるよう努めたい。
- ・話したい、聞いて欲しい、何らかの意味がある。相手目線で否定せず聞いていきたい。安心できる人になる。
- ・できることを奪っている時があるということに気づきがあった。できることをやってもらうことが大切だと確認できた。

- ・当たり前のすれ違い、できないことを求めていなかったか？考えさせられる内容だった。コミュニケーション能力を改めて考えることができた。
- ・認知症の人の当たり前、介護者の当たり前のすれ違いがトラブルの元になりやすい。

#### ○その他意見、要望等

- ・この研修は職員の知識向上につながる。授業で習っていることが現場でも必要な知識だと実感した。認知症は予防はできるが治療は出来ないと知りもっと医学が進めばいいのに。

### ◆受講報告書（代表者）◆ ※詳細は報告書参照

認知症入所者は支援方法が難しいことが多い。決めつけず気持ちを感じとる技術やできることを見つけ出したい。「その人らしい暮らし」が安心してできるよう研修で学んだことを日頃の支援で活かしたい。